

知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議の設置について

1. 目的

知床世界自然遺産地域の適正な利用およびエコツーリズムの推進を図り、多様な野生生物を含む原生的な自然環境を後世に引き継いでいくため、学識経験者、関係行政機関、地域関係団体による検討会議を設置する。

2. 検討会議の構成

検討会議は、「知床世界自然遺産地域科学委員会 適正利用・エコツーリズムWG」と「知床世界自然遺産地域連絡会議 適正利用・エコツーリズム部会」の合同開催により組織する。

事務局は環境省釧路自然環境事務所、林野庁北海道森林管理局、北海道が務める。また、検討会議の座長は、適正利用・エコツーリズムWG座長が務める。

○適正利用・エコツーリズムWG委員

愛甲 哲也	北海道大学大学院農学研究院 准教授
石川 幸男	弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 教授
敷田 麻実	北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 教授【座長】
小林 昭裕	専修大学経済学部 教授
庄子 康	北海道大学大学院農学研究院 准教授
中川 元	公益財団法人知床自然大学院大学設立財団 業務執行理事
間野 勉	北海道立総合研究機構環境科学研究センター 自然環境部長

○適正利用・エコツーリズム部会

①地元関係機関

ウトロ地域協議会、知床斜里町観光協会、知床羅臼町観光協会、知床ガイド協議会、(公財)知床財団、知床自然保護協会、斜里山岳会、羅臼山岳会、羅臼遊漁釣り部会、知床小型観光船協議会、知床羅臼観光船協議会、(一財)自然公園財団知床支部

②関係行政機関

斜里町、羅臼町、環境省釧路自然環境事務所、林野庁北海道森林管理局、北海道

3. 検討会議の進行等

検討会議は座長が招集し、議事進行を行う。また、検討会議は原則として公開する。